

神奈川県南支部のホームページは（[全日本建設交運一般労働組合 \(ctg-kennan.net\)](http://ctg-kennan.net)） または右のQRコードからアクセスできます。分会・班の仲間は多くの労働者に広げてください。



2024年3月5日

かながわけんなんしふ

建交労神奈川県南支部

2024年春闘No.11

2023年度推進ニュース⑱通算328号

発行責任者 小島 茂

## 神奈川県交運共闘が自動車パレード実施！ 陽春の雛まつり・港横浜で春闘をアピール

春の日差しが降りそそぐ3月3日雛祭り港横浜山下ふ頭に神奈川県交運共闘（自交総連神奈川地本、建交労神奈川県本部、港湾労働組合、検数労連横浜、港運海貨労協、横浜港湾労協）の仲間が結集し山場を迎えた2024春闘に決起する集会を開催しました。

集会後には、暖かな日差しと穏やかな風が吹くなかを市民や観光客でにぎわう横浜みなとみらい地区周辺を“大幅賃上げで国民経済の回復”をアピールして自動車パレードを実施しました。

建交労はこの日の集会パレードに神奈川県本部の伊藤委員長、高橋書記長はじめダンプ支部、神奈川県南支部の清野副委員長、佐藤執行委員、赤羽特執が参加しました。また、建交労神田支部の上村（かみむら）委員長（建交労全国トラック部会副議長）は首都圏



交運共闘の副議長として来賓挨拶し、建交労中央本部からは福富書記次長、相馬書記局員が取材を兼ねて応援に駆け付けました。

主催者挨拶を行った神奈川県交運共闘の富松議長（右上写真の上）は残業規制やタクシーライドシェア問題などを抱えて大幅賃上げを追求する交運労働者には重要な春闘となると強調しました。

来賓トップは、神奈川県春闘共闘を代表して赤堀神奈川労連幹事（右上写真の下）が“厳しい国民生活の一方で大企業は大儲けを続けている。しかし、30年間トリクルダウンは起きていない。財界・政府の生活破壊に終止符を打とう”と呼びかけました。

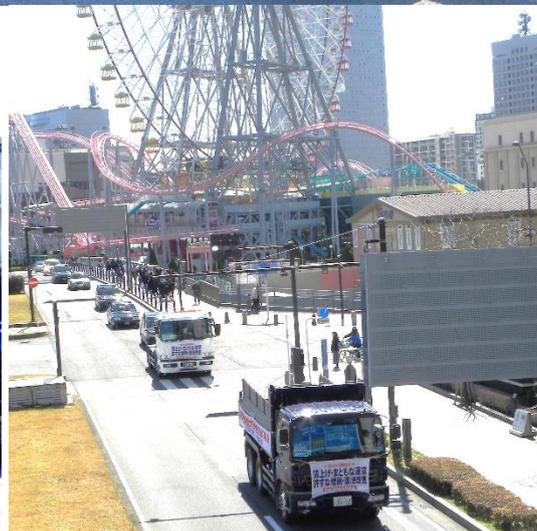
首都圏交運共闘の上村副議長（左上写真）は“国民の生活を支える交運労働者の苛酷な労働実態を告発し、1月2日に起きた羽田空港での重大事故は交運共闘が以前から指摘していた安全対策の軽視が一因であることを指摘して春闘での大幅賃上げと併せ安全・安心対策の強化を進めよう”と訴えました。

来賓の最後には日本共産党の木佐木（きさき）神奈川県議会議員（左側下の写真）が“政府が巨額の資金を提供して熊本県内で展開されているIT企業など誘致バブルの実態も告発して、国民の暮らしを守るたたかいに連帯する”と挨拶しました。

つづく決意表明は、神奈川県交運共闘の高橋副議長（建交労神奈川県本部書記長：右の写真）が行い交運労働者のたたかいを自動車パレードで市民にアピールしようと呼びかけました。



## 自動車パレードの出発！ 梯団の先頭を行く 神奈川ダンプ支部&参加した建交労の仲間



## 福祉保育労緑陽苑分会の争議支援に結集 横浜地裁での3/4結審日に20名余が参加

福祉保育労組緑陽苑分会を敵視する緑陽苑理事長が労働委員会命令を不服として行訴した裁判が横浜地裁で3月4日に結審し裁判長からは5月29日13:15からの判決が告げられました。

この日は、緑陽苑分会のたたかいを支援する仲間20名余り（福保労を含む）が駆け付け神奈川県南支部からは金崎書記長はじめ合同分会の益山、河野、根井、赤羽が参加しました。

緑陽苑分会は、執拗に組合攻撃・不当労働行為を繰り返す緑陽苑理事長に、すべての争議で勝利しており5月勝利判決も間違いありません。

一方で閉廷後の報告会では「緑陽苑理事長の組合攻撃に終止符を打つ対策の必要性を指摘する」支援者の発言もありました。神奈川県南支部は引き続き緑陽苑分会を支援します。



報告会後の横浜地裁前での当該組織と支援者

2024年1月11日

建交労県本部委員長 殿

建交労支部委員長 殿

全日本建設交運一般労働組合(建交労)

中央執行委員長 角田 隆代



## 「令和6年能登半島地震」被災者支援カンパのよびかけ

全国で奮闘されている建交労のみなさんに呼びかけます。

本年1月1日の夕方4時過ぎに発生した令和6年能登半島地震（能登半島地震）は、M7.6・最大震度7を記録しました。地震発生直後には能登方面の日本海沿岸部で津波が襲いかかり、家屋などが水没し、人的被害を与えました。

石川県では死者202人、安否不明者323人、県内避難所約400ヶ所には約26,000人が身を寄せています。（1月9日現在）その内、珠洲市内、能登町、七尾市に居住する建交労石川県本部に結集する北陸ダンプ支部（1名）、北信越労職支部石川分会（41人）が家屋の全壊、半壊、一部損壊などの被害を受けています。石川分会の組合員1人が亡くなっています。石川県本部の石田直道委員長は分会員たちの状況把握の為に5日から現地入りをしています。

建交労は、被災された仲間と住民の皆さんに心からお見舞い申し上げるとともに今後できる限りの支援をしていくことにします。

1月5日石川県労連内に「支援対策本部」を設置し、全労連は1月10日に「令和6年能登半島地震・対策支援募金」のとりくみを開始しました。今後現地の状況を掌握したうえで、支援物資の搬入やボランティア派遣など具体的な支援活動を全国的にすすめる方針を確認しました。

建交労は、全労連の確認・提起を受けて「能登半島地震」被災者支援カンパのとりくみを10日に開催した常任執行委員会で確認し、全国の仲間に協力を呼びかけます。各組織の積極的な対応をお願いします。

集約した救援カンパは、以下の金融機関の口座に振り込んでください。

**お手数ですが、振り込みした組織は必ず、メールかFAXで別紙用紙にて随時お知らせ下さい。**

以上

### 【振り込み先】

中央労働金庫新宿支店（普通）3731711

（名義）建交労中央本部

### \* 【郵便振替】

（口座番号）00180-3-25195

（名義）建交労

振込用紙に「震災カンパ」と記入してください

上記へ支援カンパを振り込んだ分会・班及び組合員は神奈川県南支部にご報告ください。